

宮古市東日本大震災地区復興まちづくり計画 参考資料

今後の検討課題等

本計画では、地区復興まちづくり検討会から提言された内容を最大限尊重することを基本としています。ただし、関係機関との協議や技術検討等により、提言内容との相違点等や今後の検討課題が生じておりますので、その理由等を以下に示します。

なお、今後の主な検討課題に掲げた事項につきましては、関係機関との協議、調整等も踏まえ、実施に向けて継続的に検討していきます。検討の結果、実施が可能と判断した事業については、順次、本計画を変更し、実施していきます。

(1) 田老地区

●地区復興まちづくり計画（検討会からの提言）との相違点等と理由

- ・国道 45 号は、背後のまちづくりと併せて浸水しない高さまで嵩上げすることにより、津波襲来時でも寸断されない災害に強い道路網の整備が図られるとともに、乙部高台へのアクセス性が高まることから、山側のルートを選定しました。
- ・高台移転先については、集団移転による市街地の分散を可能な限り抑制するため、既成市街地との連続性を確保できる位置として乙部高台を選定しました。

●今後の主な検討課題

- ・大平地区（田老駅前）の嵩上げについては、三陸沿岸道路の整備計画を見据えた県道有芸田老線の整備の状況を踏まえ調整していきます。
- ・総合運動公園については、平成 24 年度に公共施設の配置方針を踏まえ検討します。
- ・防潮堤を乗り越す道路の整備については、防潮堤の整備計画に併せて検討します。

(2) 鍬ヶ崎地区

●地区復興まちづくり計画（検討会からの提言）との相違点等と理由

- ・高台移転先の住宅地の整備については、防潮堤整備により現地再建が可能となるため、高台移転希望者への支援を行う事業手法がありません。このため、既存の公営住宅等の再整備・活用等を検討します。
- ・地区と国道 45 号をつなぐ避難道路を整備については、自動車の通行に対応するためには、高低差を解消するための道路延長が必要となります。周辺の住宅環境から判断し、整備は困難と判断されるため、歩行者避難路等の整備と機能充実を図ることを検討します。

●今後の主な検討課題

- ・高台への避難路となる日影線や中里中央線等の既存道路の整備については、側溝のフタ設置による幅員の確保や路面の再舗装、街路灯設置等による安全性向上を検討します。
- ・水産加工業者の誘致、昔の街並み再生、魚市場や浄土ヶ浜と関連させた観光機能の強化、サイクリンロード（自転車道）や小河川の親水空間の整備等について、賑わいを創出する方策を復興まちづくりと併せて検討します。
- ・閉伊川河橋については、今後検討していきます。
- ・津波体験を後世に伝える慰霊碑の整備については、市全体での配置のあり方を勘案しながら検討します。

(3) 愛宕・築地・光岸地地区

●今後の主な検討課題

- ・公園及び閉伊川堤防に沿った歩行者・自転車道整備については、復興まちづくりの進捗に併せて今後検討していきます。

(4) 中心市街地地区

●今後の主な検討課題

- ・小山田橋から出逢橋までの南北方向の道路整備については、三陸沿岸道路及び宮古盛岡横断道路等の高速交通網の整備により、市内の交通量が変化すると予想されることから、その状況を踏まえ検討します。
- ・末広町を南北方向に縦断する道路整備、電線類の地中化や東西方向の道路の終日一方通行化については、商店街における魅力的なまちづくりと併せて今後検討していきます。
- ・閉伊川堤防に沿った歩行者・自転車道の整備については、復興まちづくりの進捗に併せて検討します。

(5) 藤原地区

●地区復興まちづくり計画（検討会からの提言）との相違点等と理由

- ・国道45号のルート変更については、防潮堤が整備されることにより浸水が予想されないことや、代替機能となる三陸沿岸道路や宮古盛岡横断道路が整備されるため、現道利用の促進を図ることとします。なお、閉伊川河橋については、今後検討していきます。

●今後の主な検討課題

- ・集会所の整備については、平成24年度に策定する都市防災総合推進事業計画に併せて避難所機能を兼ねる集会施設の検討をします。
- ・閉伊川沿いの道路の歩道設置については、JR山田線の橋梁の架け替え計画に併せて検討します。

(6) 磯鷄地区

●地区復興まちづくり計画（検討会からの提言）との相違点等と理由

- ・磯鷄老人福祉センターについては、震災前に金浜老人福祉センターに機能統合する計画となっていたことから割愛しました。

●今後の主な検討課題

- ・防潮堤沿いの土地における強固な建物建設に対する支援策については、関係機関との協議等を踏まえ検討します。
- ・防潮堤の海側の散策路整備については、防潮堤の嵩上げ整備に関連するため、復興まちづくりの進捗に併せて検討します。
- ・集会所の整備については、平成24年度に公共施設の配置方針を踏まえ検討します。
- ・防潮堤を乗り越す道路の整備については、防潮堤の整備計画に併せて検討します。

(7) 高浜地区

●今後の主な検討課題

- ・高台への避難路となる市街地内の既存道路の整備については、側溝のフタ設置による幅員の確保や路面の再舗装、街路灯設置等による安全性向上を検討します。
- ・金浜地区と連絡する道路整備については、三陸沿岸道路の整備の状況を踏まえながら検討します。
- ・地区センターの整備については、平成 24 年度に公共施設の配置方針を踏まえ検討します。

(8) 金浜地区

●今後の主な検討課題

- ・高台への避難路となる地区の既存道路の整備については、側溝のフタ設置による幅員の確保や路面の再舗装、街路灯設置等による安全性向上を検討します。

(9) 津軽石地区

●今後の主な検討課題

- ・根井沢川の河川整備や藤畑の排水対策強化については、J R 山田線や国道 45 号整備との関連や宅地の嵩上げ等が必要となるため、今回の復興まちづくりとあわせて、継続的に検討していきます。
- ・ふ化場から津軽石中学校や駒形神社等へ通じる道路については、藤畑の排水対策と併せて検討します。
- ・藤畑・弘川間の津軽石川への新橋整備や豊間根への道路については、嵩上げ県道等の避難道路整備を勘案し、その必要性や事業方策を検討します。
- ・ふ化場付近での公園整備、根井沢川沿いの低未利用地を活用した公園整備という提案については、関係権利者の意向も確認しながら検討します。
- ・既成市街地から高台へ通じる避難道路については、拡幅の必要性や安全性向上を図るための方策を検討します。
- ・工業高校裏を通る避難道路については、土地区画整理事業等により計画的な区画道路配置を検討します。
- ・津軽石川水門付近での国道 45 号に上がる道路については、水門管理道路の供用に関して、関係機関と協議し検討していきます。
- ・集会所の整備については、市全体の公共施設の適正配置の検討状況を踏まえ検討します。
- ・被災した土地の買取りや住宅再建等に対する支援策については、関係機関との協議等を踏まえ検討します。
- ・嵩上げ県道海側の土地利用については、住宅地、産業用地、農地の混在を解消するため、一体的に土地を再編することを検討します。

(10) 赤前地区

●今後の主な検討課題

- ・バス路線網の見直しという提案については、復興後の新しいまちの形にあわせた公共交通のあり方を検討します。
- ・津軽石川の中の木を整備し流れやすくすることについては、津軽石鮭繁殖保護組合の意向も確認しながら、その方策等を検討します。
- ・藤畑・払川間の津軽石川への新橋整備については、嵩上げ県道等の避難道路整備を勘案し、その必要性や事業方策を今後検討します。
- ・既成市街地から高台へ通じる避難道路については、拡幅の必要性や安全性向上を図るための方策を検討します。
- ・工業高校裏の避難道路及び交差点の改良については、土地区画整理事業等により計画的な区画道路配置を検討します。
- ・津軽石川水門付近での国道 45 号に上がる道路については、水門管理道路の供用に関して、関係機関と協議し検討していきます。
- ・被災した土地の買取りや住宅再建等に対する支援策については、関係機関との協議等を踏まえ検討します。
- ・運動公園については、平成 24 年度に公共施設の配置方針を踏まえ検討します。
- ・嵩上げ県道海側の土地利用については、住宅地、産業用地、農地の混在を解消するため、一体的に土地を再編することを検討します。

(12) 松月地区

●今後の主な検討課題

- ・松月川下流部に瓦礫処理を兼ねた堤防を設置することを検討します。

(19) 堀内地区～(32) 石浜地区

※主要地方道重茂半島線の整備について、(19) 堀内地区から (32) 石浜地区で次のような検討課題ができました。

●今後の主な検討課題

- ・主要地方道重茂半島線（赤前～白浜間）の早期本復旧については岩手県に要望します。
- ・今次津波と同程度の津波が襲来しても浸水により集落が孤立しない県道の早期整備について岩手県に要望します。

(11) 摂待地区～(33) 川代地区

●今後の主な検討課題

- ・集会所等の整備については、平成 24 年度に公共施設の配置方針を踏まえ検討します。